看護職の再就職を応援する情報誌

やっぱり看護が好き

vol. 72
2020.9.1

Interview

新型コロナの医療最前線で、職員の協力と地域の人の励ましに支えられました

東京都立墨東病院　感染管理認定看護師　河嶋みさをさん、佐野真澄さん

シリーズ 仕事力をつける!

～感染対策の基本～
再就職へのステップ3日間研修より

ナースバンク通信

eナースセンター 求人情報のご案内

復職 はじめの一歩

私の就職活動 ー情報収集編ー

●未来のナースを応援します!

私の復職ストーリー 第4回

イムス板橋リハビリテーション病院病棟
村田知恵さん

Interview

河嶋みさをさん
佐野真澄さん

東京都立墨東病院
感染管理認定看護師

東京都立墨東病院は、東京都の感染症指定病院として新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の患者さんをいち早く受け入れ、対応にあたってきました。未知のウイルスに対し情報が錯綜して混乱する医療現場での看護について、感染管理認定看護師である河嶋みさをさんと佐野真澄さんに伺いました。

河嶋みさをさん
感染管理室の専従看護師として、組織横断的に院内全体の感染管理を担う。

佐野真澄さん
感染症科と消化器内科の混合病棟に所属し、臨床現場でスタッフへの感染対策の指導、アドバイスを行う。

新型コロナの医療最前線で、
職員の協力と地域の人の励ましに支えられました

個人防護具の着脱手順をあらためて確認してスタッフの自信につなげた

―感染管理認定看護師としての日頃のお仕事内容を教えてください。

河嶋　感染管理室の専従看護師として、組織横断的に院内全体の感染管理を担っています。たとえば、ICT(感染制御チーム)やAST(抗菌薬適正使用支援チーム)による院内ラウンドなどのチーム活動、職員への感染対策の教育、啓発活動などです。

佐野　私は病棟業務と兼任でICTや感染対策リンクナース委員会に所属し、病棟での感染対策、スタッフへの指導、アドバイスをしています。

―今回の新型コロナの対応では、それぞれどのような役割を担われたのですか。

河嶋　1月下旬の武漢からのチャーター機受け入れから始まり、クルーズ船、保健所からの要請による患者さんを受け入れてきました。

当初は新型コロナの情報も少なく、現場も混乱していたので、感染症科の医師に常に相談しながら、院内全体の感染対策にあたってきました。また、どのように現場のスタッフを守りながら看護・医療を提供できるかをリスクアセスメントし、それを対策会議で報告しながら、対応を決めて進めていきました。

佐野　主に感染症科病棟で、直接新型コロナ患者さんの看護にあたりました。当初は現場もかなり混乱していましたが、情報が更新されるたびに、それを現場のスタッフと共有しました。病棟スタッフへの指導や教育も私の大切な役割です。

―新型コロナ患者さんへの対応で、一番大変だったこと、ご苦労されたことは何ですか。

佐野　当院は第一種感染症の指定医療機関なので、個人防護具の着脱には慣れていると思っていました。ところが、未知のウイルスに対する恐れや不安も強く、さらに「自分たちが感染してはいけない」というプレッシャーもあり、個人防護具の着脱に不安を抱くスタッフが多かったですね。あらためて着脱の手順を一緒に確認して自信をつけてもらいました。

また、もともとは一般病棟なので、人工呼吸器を装着するような重症患者さんのケアに慣れておらず、その負担感も大きかったと思います。スタッフの心のケアにはリエゾンナースの力も借りて乗り越えました。

河嶋　重症化した患者さんの対応では、感染管理の視点だけではなく、患者さんの安全を考えた人員配置や治療体制など医療チームが1つになって取り組むことの大変さを実感しました。

もう1つ大変だったのは、個人防護具などの物資不足です。特にN95マスクは1日1枚にするなど、感染管理的にはよくないとわかっていても、そうせざるを得ない状況が今も続いています。

標準予防策がいかに大切か、職員全員が気づけたことは大きい

―今回の新型コロナ対応での、看護についての新たな気づきは何ですか。

佐野　患者さんのストレスフルな状態に、どのように接していくか、どうしたらストレスを軽減させられるかが、とても難しかったですね。患者さんの話を傾聴することでも落ち着かれましたが、やはり退院時期がみえてくると、みなさんとても表情が明るくなりました。改めて患者さんのメンタルヘルスケアがとても大事なのだと感じました。

地域の方々から届いた励ましのお手紙

河嶋　標準予防策がいかに大切かということに、看護師だけでなく、職員全員が気づけたことが大きいと思います。もしかしたら一般病棟にも無症状の新型コロナ患者さんがいるかもしれません。感染症科病棟以外の病棟の看護師は「この対策でいいのか」と悩んで、一時的に行動が取れなくなってしまうこともありました。そこを私たちが、「きちんとできている」「これだけやっている」と確認して支援することで、自信をもってケアできるようになることに気づきました。

―新型コロナ患者さんへの対応を通して、うれしかったこと、支えになったことは何ですか。

佐野　新型コロナ患者さんの実に7割ぐらいの方が、退院される時にお手紙をくださるのです。さらに地域の皆さまからも、励ましのお手紙をたくさんいただきました。それらのお手紙や、元気になって退院される姿をみると、大変さや疲れもすっかり忘れてしまうほどです。私たちは仕事として当たり前だと思っていることが、これほど感謝されるものだったと気づけて、看護師をやっていてよかったなと思いました。

河嶋　患者さんが退院される姿を私はみることはできませんが、退院の報告が入ると、とてもうれしいですね。さらに職員の協力により、職員自身が感染せずに対応できたことは私たちの自信にもつながり、支えになりました。

当院では院内感染により、一時業務を縮小せざるを得ず、地域の方々にも迷惑が及んだのですが、地域の方々は批判するのではなく、「がんばってください」というメッセージをたくさんくださり、それにとても励まされました。

これからも医療関連感染を起こさず、患者さんが一日も早く退院できるように、現場を支援していきたいと思います。

— シリーズ —

仕事力をつける！

技術研修

～感染対策の基本～
再就職へのステップ
3日間研修より

東京都ナースプラザでは、2020年度もさまざまな研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により4～5月は中止となりました。しかし、6月以降は感染対策を行いながら、54科目、92回の研修を予定しています。

研修会場入り口で検温をします。マスクは必携です。

密にならないように定員を半分にし、ソーシャルディスタンスを保ちます。

講師の演台の前には、飛沫防止のために透明のプラスチックボードが置かれています。

2020年度の「再就職へのステップ3日間研修－技術研修（採血・点滴静脈内注射等）含－」は年4回開催されます。6月10～12日に行われた第1回の研修は感染予防のため定員を12人にし、参加者11人で行われました。今回はその研修のうち、堀野純子先生による「感染対策の基本」を紹介します。

研修の前半は堀野先生の講義で、感染予防の歴史から始まり、多剤耐性菌、感染症に関する基礎知識、標準予防策の考え方と実践項目、感染経路とそれに対応する予防策などについて学びました。

後半は個人防護具の着脱方法や手指衛生の実技演習を行いました。手袋やエプロンの着脱方法について、「まず手袋を外します」、「汚れた面に触れないように」という堀野先生の指示に従い、実践しました（写真①～③）。

次に、手指衛生を学びました。菌に見立てた蛍光塗料を手のひらに塗ったあと、洗面所で手を洗い、紫外線装置で蛍光塗料がどれだけ残っているかを、各自チェックしました(写真④)。

最後に堀野先生の「感染対策の基本として、まずは手指衛生を正しくきちんとやってほしい」というメッセージで、感染対策の研修は終わりました。

今問題になっている新型コロナウイルス感染症も、基本的な感染対策を身につけておけば、冷静に対処でき、自分も患者さんとそのご家族も守れます。ぜひ研修に参加し、個人防護具の着脱や手指衛生の方法を体験してください。研修に参加して現場の声を聞くことで、安心して復帰できると思います。

堀野 純子先生
町田市民病院医療安全管理部感染対策室統括係長　感染管理認定看護師。2000年に町田市民病院に入職。2017年に感染管理認定看護師資格を取得し、2019年から医療安全管理部感染対策室専従。

①堀野先生の手順にならい、実際にエプロンを着けます。

②汚れた手袋の手のひらの部分をつまんで外します。

③汚れた部分を包み込むように、エプロンを下から丸め、一気に外します。

④手洗いの後、蛍光塗料がどのくらい残っているかを紫外線装置で確認します。

「再就職へのステップ3日間研修ー技術研修（採血・点滴静脈内注射等）含ー」の今後の予定

- ●第3回　11月18日(水)～11月20日(金)
- ●第4回　2021年1月19日(火)～1月21日(木)立川開催

時間はいずれも9:30～16:00

※開催場所等、研修の詳細は東京都ナースプラザのホームページでご確認ください

復職 はじめの一歩　私の就職活動　ー情報収集編ー

復職を考える際、どのような施設で働きたいかはとても重要なことです。
これから復職されるみなさんは、どのようにして求人施設の情報収集を行っていますか。
今回は施設の情報収集についてお話しします。

❶求人票（雇用条件がわかります）

eナースセンターの求人票には雇用形態、賃金、福利厚生、通勤手段、施設のPRなどが記載されています。
求人票を参考に、自身の就業条件と照らし合わせ、絞り込みを行っていきます。

❷来所相談

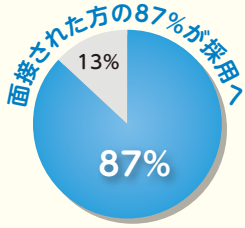
働き方や求人票の見方などについて、相談員と直接お話をしながら進めていきます。

❸就職相談会

病院・施設と看護職の方々のコミュニケーションイベントです。
求人票にない情報や、自身が知りたい情報を直接採用担当者の方に聞くことができます。

❹施設見学

昨年度は施設見学後、面接に進まれた方の87%が採用となり就業しています。
実際に施設を見学することで、求人票にはない情報が得られ、現場の雰囲気を感じとることができます。



ナースバンク東京では「ミニ就業相談コーナー」や「ふれあいナースバンク就職相談会」を開催し、施設と直接ふれあい、情報収集を行う場を提供しております。

- ミニ就業相談コーナー　火曜・木曜（毎週）13:30～15:00
- ふれあいナースバンク就職相談会　2020年度

立川	9月3日	11月12日	2021年1月28日
東京	9月11日	11月20日	2021年2月5日

“人が集まる 密にならないイベント”を企画しています。ご来所の際は、電話予約のご協力をお願いします。

詳しくは東京都ナースプラザのホームページをご覧ください。
https://www.np-tokyo.jp/

未来のナースを応援します！

未来のナースのみなさんへ一看護職について知りたい！！ー
今秋イベント開催予定！

「看護師を目指して頑張っていたけれど、自分には無理かもしれない・・・」
「看護師が素晴らしい仕事だと気がつきました。今からでも間に合いますか？」

ナースのたまごたちの疑問・質問や悩みに、ナースバンクがお答えしています。お気軽にご相談ください。

日本中で、世界中で、医療について、看護について、注目が集まっている2020年。看護職を目指すみなさんを対象に、秋にイベントを開催する予定です。詳しくは東京都ナースプラザのホームページをご覧ください。

私の復職ストーリー

ー研修への勇気ある一歩で、世界が広がるー

第4回

イムス板橋
リハビリテーション病院病棟
村田知恵 さん

復職支援研修が、ためらっていた私の背中を押してくれました

自分のこれからを考えた時、もう一度看護師として働きたいと思った

急性期病院で9年間働いていた私は、妊娠を期に専業主婦になりました。退職当初は看護師に復帰したいと思っていましたが、5年も経つと「もう看護師には戻れないな」と考えることもありました。

ただ、下の子が小学校に入学し、40歳を前に、これからの人生を考えた時、もう一度看護師として働きたいと思うようになりました。

それをきっかけに復職についてインターネットで調べて、東京都ナースプラザを訪れ、復職支援研修が自宅近くの当院で行われていることを知り、思い切って参加しました。

いっしょに研修した人たちは、家庭と仕事の両立に悩んでいたり、大変な事情がある中でも、もう一度、看護師として働きたいという気持ちの人たちばかりでした。この研修でとても勇気をもらい、当院での復職に背中を押してもらいました。

イムス板橋リハビリテーション病院病棟
村田知恵 さん

都内の大学病院循環器内科病棟に3年、公立病院呼吸器内科病棟で6年勤務後、妊娠を期に退職。9年後に復職支援研修を経て、2020年2月に入職。

ナースコールを聞いた時、懐かしさとうれしさがこみ上げてきた

9年間のブランクによる技術面の不安は、復職支援研修で感覚を取り戻し、自信をつけることができました。ただ、いざ働き出すと、いろいろなことを忘れていることに気づき、1つひとつに落ち込み、みなさんに迷惑をかけないようにと焦ることもありました。でも、今自分ができることは何かを考え、わからないことはそのままにしないで、自分から「～と思いますが、これでいいですか」と、確認しながら進めています。こうした状況を周りの人が理解して受け入れ、優しく丁寧に教えてくれるので、とても働きやすいです。

一方で、がむしゃらに働いていた若い時には見えなかったことが見えてきたり、患者さんともしっかりと向き合え、落ち着いてかかわれるようになっていることは、大きな収穫です。ブランクと思っていた間の子育てなどの経験が、人に寄り添える気持ちを培ったのだと思います。

復職して、初めて病棟でナースコールを聞いた時は、「懐かしいところに帰ってきた」という思いがしました。また、「いつか看護師として働きたい」という夢が叶えられたことが、とてもうれしかったです。

今は家庭の事情に合わせ、無理のない働き方にしてもらっていますが、子どもが成長したら、もっと患者さんに寄り添えるように、看護の技術と知識を増やしていきたいと思っています。

東京都ナースプラザの看護師支援事業

看護職の復職を応援します

復職支援研修

東京都が「地域就業支援病院」を公募・選定し、東京都ナースプラザの「就業協力員」が、地域就業支援病院が行う復職支援研修の企画・運営等を支援します。研修生は、希望する病院の研修「手厚くしっかり体験コース」「気軽にさくっと体験コース」を受講でき、再就業相談、求人情報提供およびナースバンクでの就業あっ旋につなげています。

看護管理者を応援します

アウトリーチ型定着促進支援

地域に根ざし、働き続けられる職場づくりを推進する看護管理者のため、就業協力員が定期的に病院を訪問し、「教育体制・職員育成」「患者が満足する看護」「職員が働きやすい職場環境」等病院の希望する内容に応じ、支援を継続的に実施しています。200床未満の病院が対象です。

医療圏看護管理者ネットワークづくりを支援します

集合研修型定着促進支援

保健医療圏連絡会議に参加し、各医療圏の問題、課題に合わせた情報提供や、集合研修型定着促進支援を通して保健医療圏内のネットワーク活動を推進しています。

看護管理者のためのコールセンター　TEL.03-6276-1718

看護管理に関する情報提供や相談が適宜できるよう、「看護管理者のためのコールセンター」を開設しています。中小規模病院の看護管理者は、看護管理職と師長職等との兼務も多く、情報収集の時間の確保が難しく、タイムリーに相談できる管理職が配置されていない場合も多いようです。ご活用ください。

勤務環境改善支援センター事業との連携推進	勤務環境の推進に向けた支援体制の強化を図ることを目的に、勤務環境改善支援センター事業との連携を行っています。

看護部長より一言

子育てと仕事の両立の経験を生かし、ママさんナースを応援したい

山口直子 さん

私も子育てをしながら看護師を続けてきたので、ママさんナースの大変さ、気持ちはとてもよくわかります。そこで当院は、子どもを第一に考えての就業という体制をとり、それぞれの家庭の事情に合わせ、最低限週2回、1日3時間という無理のない勤務から始められるようにしています。また、急性期病院ではない当院は、家庭と仕事のバランスが取りやすい職場であると思います。

教育担当より一言

体験を多く取り入れた復職支援研修で、少しでも自信をつけ、復職して欲しい

芳賀路恵 さん

ブランクのある人の多くは、採血、吸引、導尿といった技術面に不安を抱え、自信をなくしています。研修ではまず人形を使って、不安の大きい技術を体験してもらい、「これならできる」と思ってもらえる内容になっています。研修を受けた7～8割が当院に入職してくれますが、入職後もその人の能力に合わせ、業務調整や院内研修などの学びの機会を設けています。

イムス板橋リハビリテーション病院

【医療法人社団　明芳会　IMSグループ】　東京都板橋区小豆沢3丁目11-1

循環器疾患、脳血管疾患、運動器疾患などの患者さんが急性期を終えた後、在宅生活がスムーズに行えることを目的にした、153床すべてがリハビリのためのリハビリテーション専門病院。

「障害を持った人々の生きる力を心身両面から支える」をキーワードに、看護師、医師、PT、OT、ST、社会福祉士、栄養士などが、多職種でチーム医療を提供している。

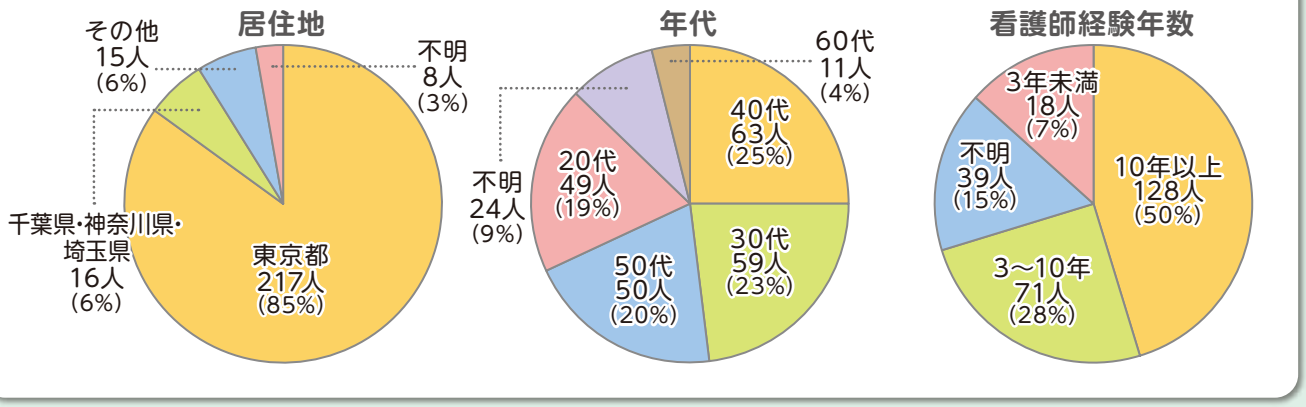
eナースセンター 求人情報

新型コロナウイルス感染症対策支援を目的とした看護職支援の状況

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）が拡がる中、多くの看護職の支援がありました。「少しでもお役に立てれば」との声から、新型コロナ対策支援としてナースバンクへご登録いただいております。ご登録いただいた方には、新型コロナに特化した求人情報の掲載を、メールでお知らせしています。

●新型コロナ対策支援のご登録者は4月、5月で256人です。

支援登録者の内訳：さまざまな年代と看護職経験の方からご登録いただきました。



新型コロナ支援の求人施設

医療機関、保健所、宿泊施設、PCR検査、検疫所等がありました。実際に220人の方にご応募いただいています。

●看護職は慢性的に人員が不足しています。引き続き看護職の皆さまのご支援をよろしくお願いします。

4月末の有効求人件数 2,274件（総件数）

病院（有床診療所含む）	549件	保育所・幼稚園	38件	学校関連	29件
高齢者施設	442件	診療所	312件	会社・事業所、健診センター	46件
市区町村・保健所関連	26件	訪問看護ステーション	554件	その他	278件

eナースセンターでライフスタイルに合った施設を探してみてください。

表紙の写真

東京駅の夜と満月

オレンジ色にライトアップされた丸の内駅舎の周りに広がる高層オフィスビル群。日本の玄関口は人気の夜景スポットでもあります。

つれづれ・・・・

感染の不安を抱えながらも自分や仲間を励まし、患者さんのそばにあり続ける看護職にエールを送りたくて、今号を企画しました。感染症の拡大で、全国的に学校やお店が閉鎖されるなど、誰もが初めての事態を経験しています。落ち込んで、投げ出したくなるのを何とか踏みとどまって向き合う強さ、使命感を支える笑顔、患者さんに向ける優しさが目に浮かびます。ね、…看護って、やっぱりすばらしい…！

佐藤浩子

ナースバンク立川 TEL042-529-7077

ナースバンク東京 東京都看護協会会館2階

所在地：新宿区西新宿 4-2-19

●都営大江戸線 西新宿五丁目駅 出口A1・A2から徒歩4分
●東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 2番出口から徒歩10分

ナースバンク立川

所在地：立川市曙町 1-21-1 ユニゾ立川ビル6階

●JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
●多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ　検索

ホームページ https://www.np-tokyo.jp/
Eメール np@np-tokyo.jp

ナースバンク東京 TEL03-5309-2065

東京都

やっぱり看護が好き Vol.72（3月・9月の年2回発行）
発行：東京都ナースプラザ　設置主体／東京都　運営受託者／公益社団法人東京都看護協会
所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-2-19 東京都看護協会会館2階・5階
TEL 03-5309-2063　FAX 03-5309-2064

2020年9月1日発行
再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています